

# 山 弓 連

令和5年第3号

令和5年12月 発行：山梨県弓道連盟

## 全国大会参加記録

### 第54回

### 全日本教職員弓道選手権大会

令和5年8月10日 和歌山県・田辺市弓道場



おめでとうございます

個人優勝

山本一博 先生

(富士北稜高)

団体3位

標 哲也 先生

山本 一博 先生

標 輝人 先生

和歌山県田辺市で開催された大会にて、個人優勝および団体3位というすばらしい成績を収めました。

山本先生は予選を4射3中で通過後、射詰競射を4本、24cm的を3本連続の中させて個人優勝の快挙を成し遂げられました。

また、団体戦でも標哲也、山本一博、標輝人のチームで3位入賞を果たしました。3位入賞は前々大会の宮城大会に続き2回目です。



### 第35回

### 全国健康福祉祭えひめ大会

ねんりんピック愛顔のえひめ2023

参加報告

- 10月27日(金) 山梨出発  
中央線、新幹線、バスを乗り継いで松山へ。
- 10月28日(土) 総合開会式  
(愛媛県総合運動公園陸上競技場)  
開始式 (松山市民会館)
- 10月29日(日) 一次予選、交歓試合  
(愛媛県総合運動公園弓道場)
- 10月30日(月) 二次予選、決勝トーナメント
- 10月31日(火) 甲府帰着  
飛行機、高速バスにて甲府へ

#### 【出場選手】

監督 綿奈部 博史

選手 綿奈部博史、依田保、大和田幸子

雨宮哲、和智一雄

補欠 大和田輝哉、小林弘子

前日の激しい雷雨から一転、快晴に恵まれた総合開会式。各競技団体からの代表者で山梨県代表として入場行進を行った。

今大会では一次予選は四ツ矢1回、9中以上が通過となるが、山梨チームは日頃の力が発揮できず7中に終わり一次予選通過ならず。

交歓試合に出場した大和田(輝)、小林選手はそれぞれ2中して記念品を獲得した。

今回参加した7名のうち6名が初参加者であったが、毎月行ってきた7回の練習会で良い繋がりもでき、良い経験となりました。

参加者一同



# 県内大会結果

## 令和5年度 納射会

令和5年12月10日(日) 小瀬武道館弓道場

### 第37回

### 山日YBS杯争奪山梨県弓道 選手権大会

令和5年11月23日(木) 小瀬武道館弓道場

令和5年度の締めくくりの納射会、競技部長の山下 弘行 教士六段の矢渡しで開会。引き続き、郡内ブロック代表者、峡中ブロック代表者による演武が披露された。

【男子の部】

参加申込人数 87名 参加者 74名

順位	氏名	支部名	段位	予選的中数	競射結果								
					36cm的	24cm的	36cm的	24cm的					
優勝	兒玉 裕己	山梨大	1級	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2位	中村 友	山梨大医	四段	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3位	大野 晃史	南アルプス	五段	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4位	茂木 洋輔	韮崎	参段	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5位	馬場 詠一郎	山梨大医	参段	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予選通過者：42名 5位は4名による遠近競射



矢渡し 山下 弘行



介添え 峡南ブロック代表者

【女子の部】

参加申込人数 42名 参加者 39名

順位	氏名	支部名	段位	予選的中数	競射結果								
					36cm的	24cm的	36cm的	24cm的					
優勝	小松 ゆかり	南アルプス	四段	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2位	秋山 杏梨	南アルプス	四段	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3位	高橋 鈴代	甲府	参段	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予選通過者：13名 2位、3位は3名による遠近競射

【称号の部】

参加申込人数 35名 参加者 30名

順位	氏名	支部名	称号	段位	予選的中数	競射結果							
						36cm的	24cm的	36cm的	24cm的				
優勝	権田 与志広	富士吉田	錬士	五段	2	○	○	○	○	○	○	○	○
2位	和智 一雄	上野原	教士	七段	3	○	○	○	○	○	○	○	○
3位	上條 剛央	上野原	錬士	六段	4	○	○	○	○	○	○	○	○

予選通過者：20名 2位、3位は2名による遠近競射



男子の部



女子の部



称号の部



郡内ブロック代表者による演武



峡中ブロック代表者による演武

競技には過去最多数となる 100 名を超えるエントリーがあり、一手の納射と四ツ矢 1 回の計 6 射で競技が行われた。

結果は以下のとおり。

射数 納射一手と四ツ矢 計 6 射

参加申込人数 103 名 参加者 92 名

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果	結果
優勝	綿奈部 博史	甲府	教士七段	5	○ ○ ○ ○ ○	× × ×
2 位	中村 昌夫	山梨	教士六段	5	○ ○ ○ ○ ○	× × ×
3 位	豊田 浩正	甲府	錬士五段	5	○ ○ ×	

1位～3位：5中者7名による射詰競射 3位：3名による遠近競射



入賞されたみなさん

## 昇段・昇格おめでとうございます

令和5年10月21日【埼玉】関東地域連合審査

五段 赤澤 英里 (甲府)

令和5年11月5日【東京】定期中央審査

教士 山下 弘行 (山梨)

令和5年11月7日【関東地区】錬士臨時中央審査

錬士 岡本 美鈴 (甲府)

## 支部だより

### 第 21 回 浅利与一義成公顕彰弓道大会

令和5年10月22日(日) 中央市与一弓道場

すがすがしい秋の好天のもと、第 21 回浅利与一義成公顕彰弓道大会が中央市与一弓道場で行われました。

県下より 77 名の参加があり、懐かしい弓友との

出会いもありました。

ご参加ありがとうございました。

競技は個人戦で行われ、4 射 2 中以上が決勝進出。

決勝は射詰で行われました。

優勝決定後、上位的中の同中遠近競射により、順位決定いたしました。

中央支部長 大菅 政勝

結果は以下の通り

順位	氏名	支部名	順位	氏名	支部名
優勝	中村 友	山梨医大	6位	田中 友裕	富士吉田
2位	住吉 健司	中央	7位	深澤 小夜	南アルプス
3位	佐野 旦曙	富士吉田	8位	淡路 敬太	山梨医大
4位	佐々木 重雄	大月	9位	高部 保延	都留
5位	上田 泉	甲府	10位	渡辺 洋	中央



入賞されたみなさん

### 第 44 回

### 川中島合戦戦国絵巻 弓隊参戦

令和5年11月5日(日) 笛吹川河川敷

毎年行われてきた川中島合戦戦国絵巻の催しに初めて弓隊として参加することが決まり、会長を大将として多数の弓道連盟有志が参加、祭を盛り上げることができました。

ここに至る経緯を投稿していただきました。



令和5年1月の清流杯弓道大会(少年)に来賓として、笛吹市長(山下政樹様)と菊池会長が同席されていました。

お二人とも、それぞれの長として、イベントや弓道の活性化を考えており、思惑が一致し川中島合戦に何らかの形で弓道を含めることになりました。

4月初回打ち合わせにて、  
笛吹市観光商工課の課長、観光物産連盟の事務局  
長、事務局の3人を交えてイベントの概要、弓道の  
参加方法の提案について話し合い、その後関係者に  
意見聴取笛吹市側と演出内容の調整など何度か打ち  
合わせを行い8月に山弓連の評議員会にて、イベン  
トの要綱を、各支部に配布する事が出来ました。



1カ月前に笛吹支部3役も交えて最終調整の打ち合  
わせをし、現地での試技の実施。  
そこでの的の距離と高さと大きさを決めました。  
出来れば通しでリハーサルを行いたかったのですが  
時間が無く断念。  
当日は9時に笛吹市役所に集合し順次、合戦の衣装  
に着替え、普段着ることの無い格好なので皆、楽しそ  
うな雰囲気でした。



12時ごろに会場アナウンスにより  
市役所前から特設された橋を渡り武田軍、上杉軍に  
分かれて整列し、菊池会長による弓道の歴史と山弓  
連の紹介の後いざ実演。  
うまく的(風船)が割れるかどうかは全く分からない  
不安の中、菊池会長の号令により武田軍、上杉軍、交  
互に一齐に矢を放ち、両軍同時にすべての的を射抜  
き、引き分けとなり理想の形で終える事が出来まし  
た。



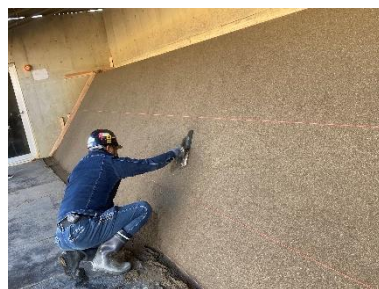
射手として参加いただいた皆様からは「面白かった、  
また参加したい」との感想があり。  
観客からは拍手をいただき、笛吹市長を筆頭に来賓  
各位にも高評価でした。  
市長からは「来年は規模を拡大しても良いのでは」と  
のお言葉を頂きました。

今回ご協力頂いた菊池会長及び山弓連の皆様。  
おかげ様で素晴らしい演武になりました。  
本当にありがとうございました。

笛吹支部長  
坂巻 雅夫

## 小瀬武道館弓道場安土改修工事

令和5年12月11日より安土改修工事がスタートしました。固まった土の安土から、砂の安土に生まれ変わっています。最も大事なものは日頃の管理です。使用後は使う前よりきれいにして帰る心がけて、大事に使っていきましょう。



### 編集後記

コロナが5類に移行した初年度、コロナ禍前の状態に戻りつつある中、大勢の参加を得ながら数々の催しが開催されてきました。新しい試みも行われました。来年度は関プロ開催の年、皆さんの協力により成功させましょう。 [koho39ren@kyudo-yamanashi.com](mailto:koho39ren@kyudo-yamanashi.com) (綿奈部)